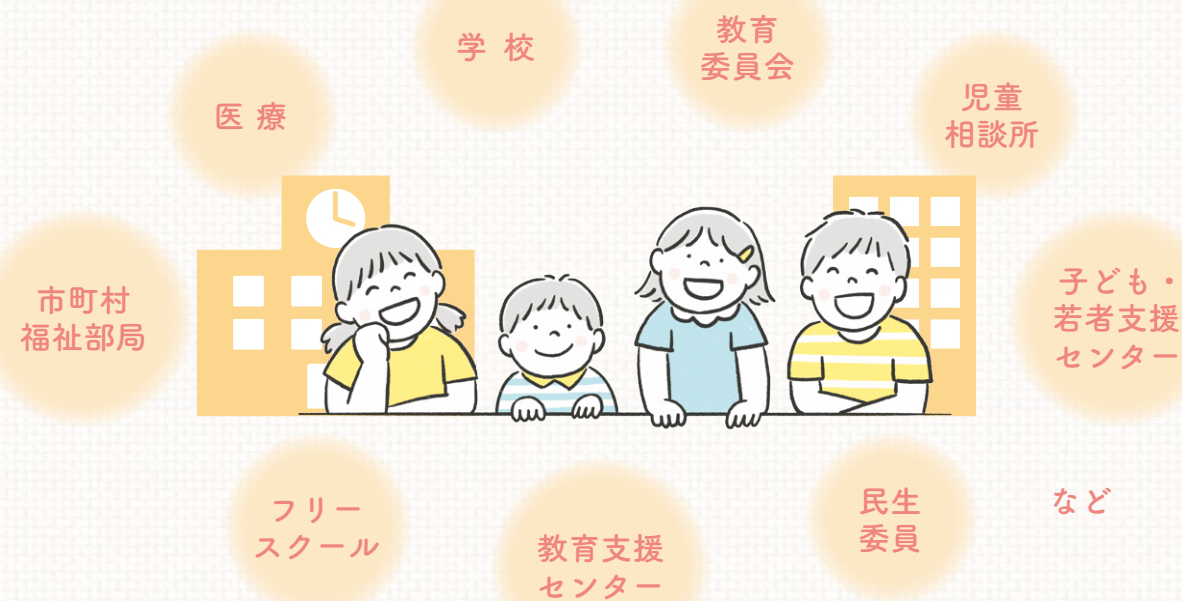


支える ～子どもたちの今とこれからを一緒に考えましょう～



子どもたちの健やかな成長には、寄り添い、見守ってくれる大人の存在が必要です。

子どもたちの成長を支える大人たちには、自分は一人じゃないという心の支えが必要です。

自分らしく生きたいと願うすべての子どもたちのために。

子どもたちを支えたいと願うすべての大人たちの笑顔のために。



学校・福祉連携の手引

～気づく、つなぐ、支える～

リーフレット版

子どもたちを支えたいと願う

大人たちのために

令和7年3月

作成 島根県教育委員会

協力 一般社団法人 島根県社会福祉士会

学校・福祉
連携の手引

～気づく、つなぐ、支える～



学校・福祉連携の手引

冊子「学校・福祉連携の手引～気づく、つなぐ、支える～」
を一緒にお読みください

島根県教育庁人権同和教育課

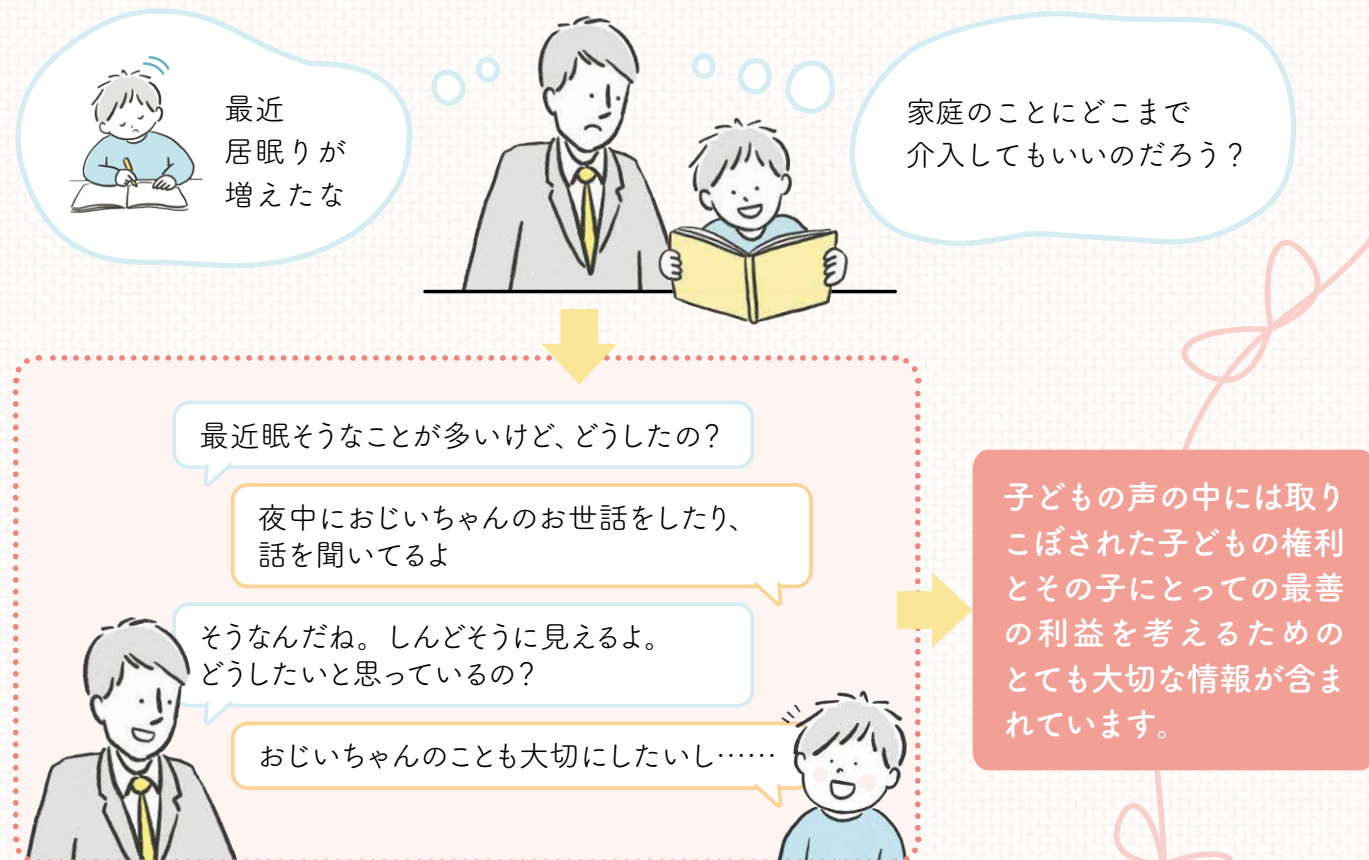
〒690-8502 島根県松江市殿町1番地
TEL 0852-22-5432 FAX 0852-22-6166
<http://www.pref.shimane.lg.jp/jinkendowakyoiku/>

学校と福祉の連携

子どもたちのまわりには、学校以外にも子どもたちを支える人や機関がたくさんあります。教職員だけでなく、他職種の専門家・関係機関が連携し、役割分担をしながら、子どもの声を聞き取っていくことは、子どもの最善の利益（子どもにとって最もよいこと）を考える上でとても大切です。子どもたちが自分の将来を選び取っていくことができる環境づくりをすすめましょう。



気づく ～ 子どもたちがおかれている背景に思いを馳せて、子どもの声を聴きましょう ～



子どもの声を聴きましょう

このタイミング！

子どもたちの「しんどい」に教職員が丁寧にかかわると、「大人は辛いことに一緒に付き合ってくれる存在」だと気づき、自分の思いを伝えてみようと思ひ始めます。



「気づく」ためには、手引の「気になる子どものチェックシート」を参考にしてください。

つなぐ ～ 教職員の一人ひとりの気づきを、校内組織につなげ、社会福祉の関係機関とつながりましょう ～

教職員の気づき

他の教職員に相談

校内組織

一人ひとりの気づきを学校としての気づきへ



- ① 情報収集・整理
- ② 見立て（アセスメント）
- ③ 判断

- ☐ 課題が複雑でアセスメントが難しい
- ☐ 学校としてできることが限られている
- ☐ 家庭への働きかけに悩んでいる

校内で対応できること

- 例
- 複数の教職員によるチーム対応
 - SCによるカウンセリング など

スクールソーシャルワーカー（SSW）と一緒に考えましょう

SSWは学校職員の
一員です



学校と社会福祉の関係機関が連携した例

- 不登校傾向の子どものケース会議をスクールソーシャルワーカー（以下、SSW）とともに開催し、精神的な病気を抱える保護者への支援をSSW、市町村福祉部局、医療機関で連携して行い、結果として子どもの登校状況の改善につながった。
- 家庭支援について学校から市町村の社会福祉協議会に相談し、制服のリースや生活福祉資金の貸与などにつながった。



学校と社会福祉が連携することで、
その子が辛くなる前の環境に早く気づき、
適切な支援につながります

